

【10月12日（月）後期始業式（放送）の話】

みなさん、おはようございます。前期と後期の区切りを付ける、週末が終わりました。今日から後期が始まります。今、後期児童会役員の認証が放送されましたが、コロナ禍での草平小学校の児童会活動に、みんなで知恵を出し合って、工夫して取り組み、今よりももっともっと笑顔あふれる草平小学校にできるよう、よろしくお願いします。

昨年の後期のスタートは、その前の三連休に大型で強い台風19号が日本列島を襲い、各地の河川の堤防が切れて、多くの犠牲者が出ました。そして、体育館での朝礼時に、犠牲者の命と被災地の1日も早い復興に、全校で黙とうを捧げました。高学年の人たちは覚えているでしょうか。

この週末も台風14号の進路を心配していましたが、幸い進路が逸れて、大きな被害もなく、本当に良かったとホッとしています。

さて、金曜日に通知表を持って帰りましたが、お家の方は何と言われていたでしょうか。大切なのは、今日からです。通知表をもらったことで、さらに伸ばすべき自分の良いところや、克服すべき苦手なポイントがはっきりしたのですから。

でも、苦手なことにはなかなか気が進まないですね。先生もよく分かります。人間なので、できれば苦しいことから逃げたいと思いますよね。

苦手なことを克服するために必要なこと。それは、「チャレンジする気持ち」をもつということです。最初は誰だってうまくいきません。でも、「とりあえず、やってみよう！」というチャレンジする気持ちをもつことで、何か課題に取り組みます。すると、少しずつ進歩して、しばらくするとチャレンジする前とはちがった自分になることができます。取り組む課題は、本当に小さなことで良いのです。例えば、「漢字が苦手だから克服したい」と思ったら、「1日15分、漢字ドリルに取り組む」とか、逆上がりができるようになりたかったら、「お天気の良い日は、1日1回、必ず鉄棒に取り組む」など、自分が毎日できそうな小さな目標を立てて取り組むのです。それを、3日続け、1週間続け、1ヵ月続けたころには「自然とやっている」くらいの「習慣」になっていると思います。その時の自分は、取り組む前の自分とはちがった自分になっています。これは、チャレンジしてやってみた人にしか見られない自分の姿です。

どうかみなさん、「どうせ自分ではできない」ではなく「少し頑張ってみよう」という、「チャレンジする気持ちをもった自分になる」ことで、大きく成長した自分を体験することができ、自分のことをもっともっと好きになれると思います。後期は、そんなチャレンジする気持ちを大切にスタートさせてほしいと思います。

チャレンジする皆さんを、先生たちは全力で応援しています！

1週間頑張りましょう。